

地域調査士資格の取得について

本学科で地域調査士資格を取得するためには、次の①～④が必要です。

- ①以下の科目を履修し、大学を卒業すること
- ②地域調査に関する卒業論文を提出し受理されること
- ③(公社)日本地理学会の講習を受けること
- ④資格取得を申請すること

①履修科目について

卒業のために不可欠な科目で地域調査士の要件とされる科目

- 「人文地理学入門」「自然地理学入門」(1年次必修)
- 「調査法」「演習」(3年次選択必修)

学生に選択の幅が与えられている科目

- 「日本地誌A・B」「村落地理学A・B」「景観地理学A・B」のうちの1つ

※必ず担当者が同一のA・Bを組み合わせて履修してください。

(2018年度 村落地理学A(高橋)、2019年度 村落地理学B(松尾)のような組み合わせは不可)

- 「地図学A」「測量学」「地理情報論」のうちの1つ

※2017年度以前に「地図学」を履修していれば、新たに「地図学A」を履修する必要はありません。

※2018年度に「地図学A」を履修した学生は、同年度の「地図学B」も履修している必要があります。

資格取得のために指定されている科目

- 「地域統計分析法A」または「同B」1科目

※2017年度以前に「計量地理学」を履修していれば、新たに上記科目履修の必要はありません。

②卒業論文について

卒業論文は、地域調査が主要な構成要素となっている論文で、大学の卒業論文としての水準を十分に満たしていると認められるものが求められます。「卒業論文」としての単位認定とは別に、地理学科(卒業前)もしくは日本地理学会(卒業後)での審査があります。

③講習について

今年度の関東地方における地域調査士講習は、4月21日(日)および11月に開催予定です。4月の講習の申し込み締切は4月12日(金)なので、受講希望者は早急に手続きをしてください。受講料10,800円が必要です。講習は「心構え」「法令」「個人情報保護」「人権」からなり、各講習終了後に理解度確認テストが実施されます。難しくはありません! 詳細については、別途掲示される講習案内を参照してください。

④資格申請について

地域調査士の資格申請は、日本地理学会に学生自身が行います。「申請前部分審査制度」による申請(いわゆる卒業前申請)と、卒業後の通常の申請があります。詳細は、日本地理学会 資格専門委員会サイト(<http://ajg-certi.jp/>)を参照してください。

地域調査士資格は、「地域調査のプロ」であることを社会に示す資格です。この資格を取得すれば、行政や教育の分野をはじめ、都市計画、エリアマーケティング、地域福祉などの分野で自信を持って能力を発揮することができるでしょう。多くの諸君が地域調査士の資格を取得されることを期待します。

※なお、**専門地域調査士**の講習は6月に日本地図センターで開催されます。